

---

## ダウンロードファイル使用方法

Ver. 2010.10

# 1.導入方法

- トレードシグナル用のTrend StepやPivot Zoneをご使用いただくためには、予めトレードシグナルをインストールしていただく必要があります。

- インストールにつきましては、右記URLよりご確認ください。

◎このテキストでは、ご使用のPCに、既に『ひまわりトレードシグナル』をインストールされていることを前提に解説させていただきます。

◎インストールがまだお済でない場合は、下記URL内よりご希望のバージョンのガイドPDFをご覧ください、作業を完了させておいてください。また、無料トライアル版もございますので、是非、ご活用ください。

<http://sec.himawari-group.co.jp/systemtrade/trial/>

1. トレードシグナルを起動しておきます。 図1-1

2. サイトよりダウンロードしたファイルを解凍します。

3. 図のような地球にエクスクラメーションマークのついたファイルが現れますので、ダブルクリックします。

図1-2

4. インポートするファイルの一覧が表示されますので、同ウィンドウ内の下部にある「OK」をクリックします。

図1-3

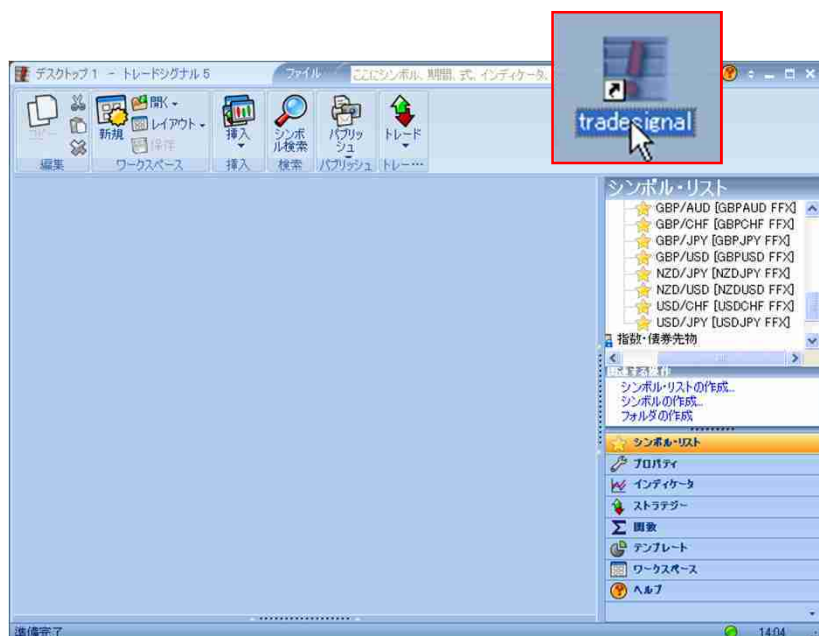


図1-1



図1-2



図1-3

1. 画面右側下部にある、**ワークスペース①**をクリックすると、上部にPCに保存されている**ワークスペースの一覧**が表示されます。②

2. **TrendStep and PvotZone**というワークスペースをダブルクリックで開きます。

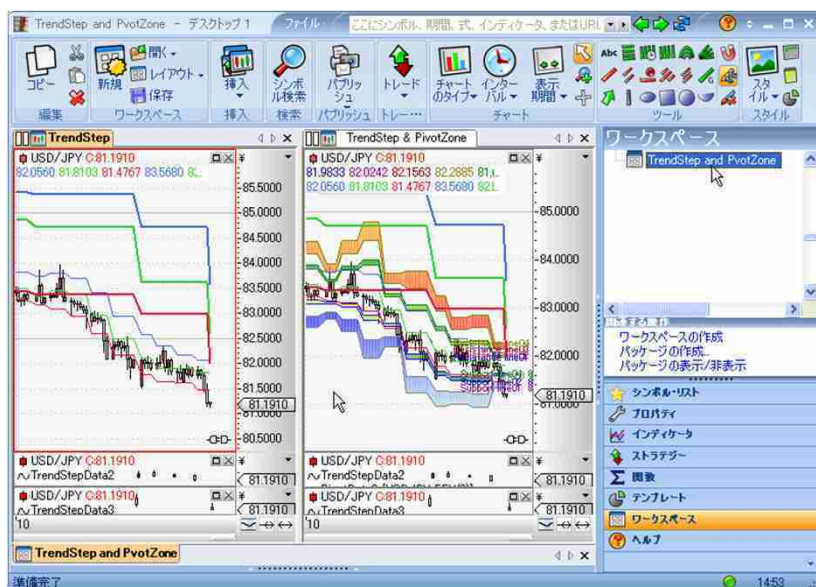
図1-4

3. **TrendStep and PvotZone**が開きました。

図1-5



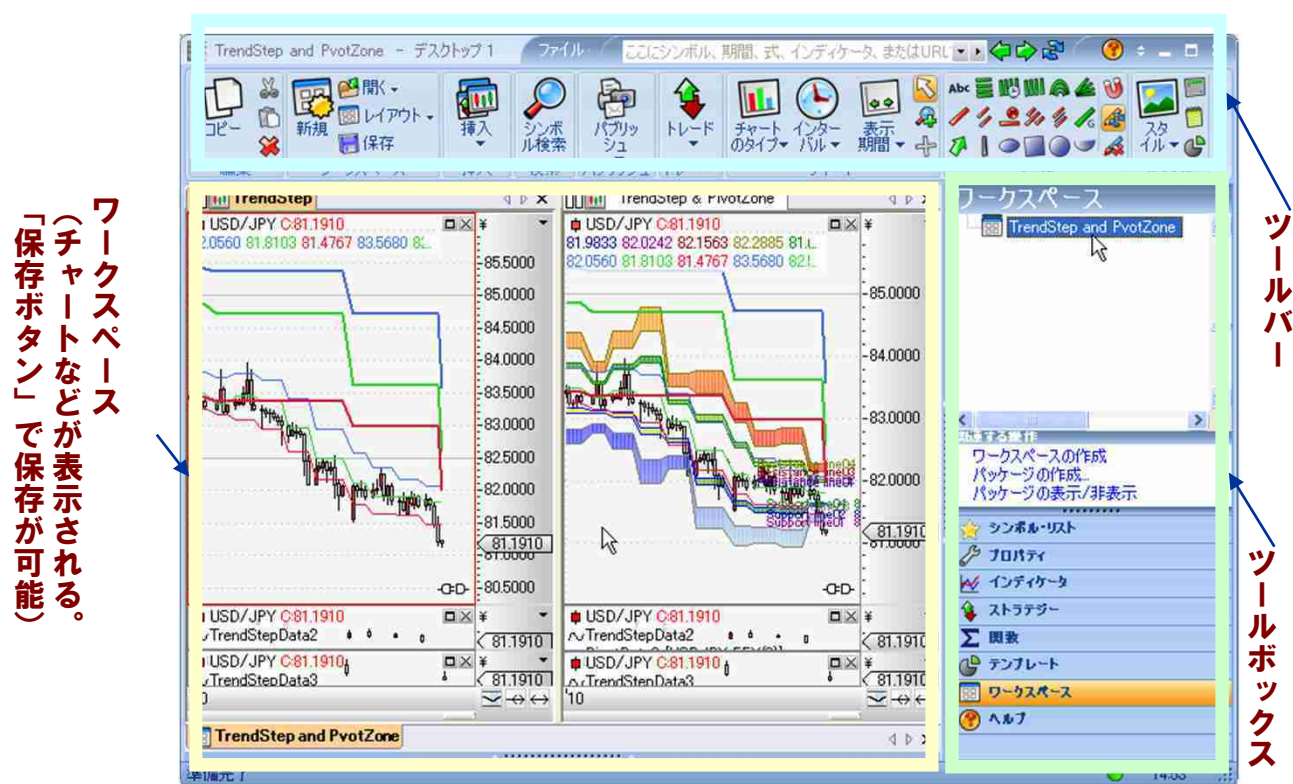
図1-4



↑ 左 : Trend Step 右 : Pivot Zone

図1-5

## 2.画面構成



### 各種ガイドはこちら

- トレードシグナル無料トライアル版お申込み方法

<http://sec.himawari-group.co.jp/systemtrade/trial/start/>

- トレードシグナル製品版お申込み方法

<http://sec.himawari-group.co.jp/systemtrade/trial/howtobuy/>

- トレードシグナル各種ガイドページ

<http://sec.himawari-group.co.jp/systemtrade/outline/tradesignal/manual/>



- ひまわり証券ホームページ

<http://sec.himawari-group.co.jp/>

- ひまわり証券システムトレード

<http://sec.himawari-group.co.jp/systemtrade/>

## 2.主な操作方法

■こちらでは画面の基本的な操作方法をご紹介します。

### ■チャートの操作 図2-1

- **ワークスペースタブ：**  
ワークスペース内では、様々な作業を行います。チャートなどはこの中で表示され、また、保存はワークスペース単位で行われます。（今回は **TrendStep and PivotZone** という名称のワークスペース） ①
- **チャートタブ：**ダブルクリックで最大化が可能です。もう一度ダブルクリックをすると元の大きさに戻ります。②
- **チャート：**今回は一つのタブの中に3段に分かれて表示されています。一番上の **TrendStep** が表示されているチャートがメインのもので4時間足③、一つ下段が日足④、もう一つ下段が週足⑤となっており、メインチャートでPivotラインを表示させるために使用しています（インターバルの変更も可能です）。また、それぞれのチャートの領域をダブルクリックで、最大化が可能です。もう一度ダブルクリックすると元に戻ります。



図2-1



## ■ チャート表示関連

- スケール部を左ボタンのドラッグで表示位置調整
- スケール部をマウス右ボタンのドラッグで表示範囲を伸縮

図2-2



図2-2

## ■ チャート（足）の表示本数設定方法

✓トレードシグナルでは、チャートの表示期間を、ロウソク足の本数で設定します。

- 変更したいチャートの上でクリックし、選択状態にする。①
- プロパティが自動で「チャート」に切り替わりますので「データ期間」の数値をクリックし、書き換えます。②③

図2-3



図2-3

## ■ シンボル（銘柄）の変更

1. 変更したいチャート上でクリックし、選択状態にする。①
2. ツールバー右下の、「シンボルリスト」をクリックし②、上部一覧のシンボル名を右クリックします。
3. 「シンボルの置き換え」をクリックします。③
4. 価格データの再読み込みが始まり、通貨ペアが変更される。

図2-4



図2-4

## ■ インターバルの変更

⇒チャートの時間間隔を調整できます。

- 上部ツールバーでも変更可能ですが、チャートが何段か重なっている場合は、次のように設定します。

図2-5

1. チャート上に表示されている、変更したい通貨ペア名の上で右クリックします。①

図2-6

2. 「オブジェクトのインターバル」内のメニューからご希望の間隔を選択します。②

図2-6



図2-5

図2-6

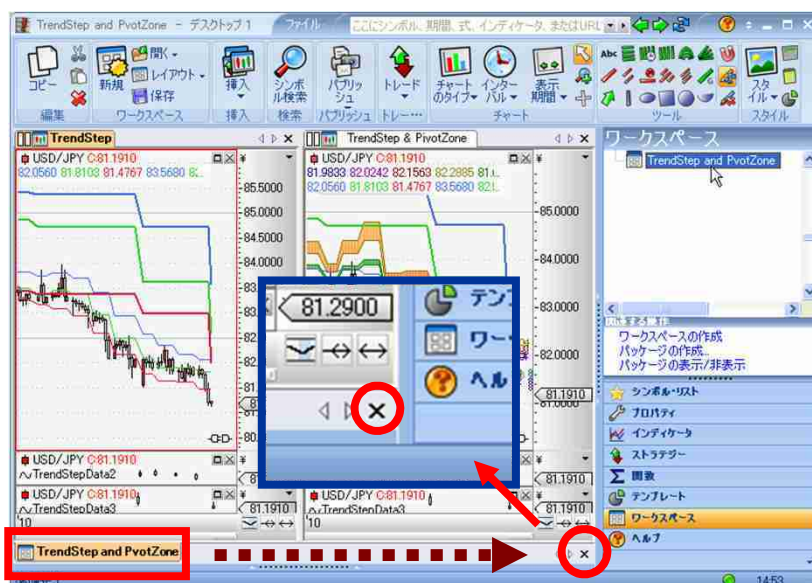
## ■ワークスペースの閉じ方

### ■ワークスペース名：

**TrendStep and PvoZone**  
の右延長線上の「×」を  
クリックすると、ワーク  
スペースを閉じることが  
できます。

図2-7

図2-7



ワークスペースタブの右延長線にある×ボタンで削除する  
⇒開き方はP3に記載



## ■ TrendStep and PivotZone チャートを複製する

- 別のインターバルでの組合せてTrendStep and PivotZoneを使用したい場合、既存のチャートを複製し、それを使用すると便利です。

1. 複製したいチャートのタブが選択されてオレンジ色になっているのを確認し①、ツールバーの「コピー」ボタンを押します②。

図2-8

2. 「貼り付け」をクリック③しますと、チャートが一枚追加されます④。

図2-9,10

3. 「保存」ボタンを押すと⑤、変更が保存され、次回からも同じ状態にて開くことが可能です。

図2-11



図2-8



図2-9



図2-10

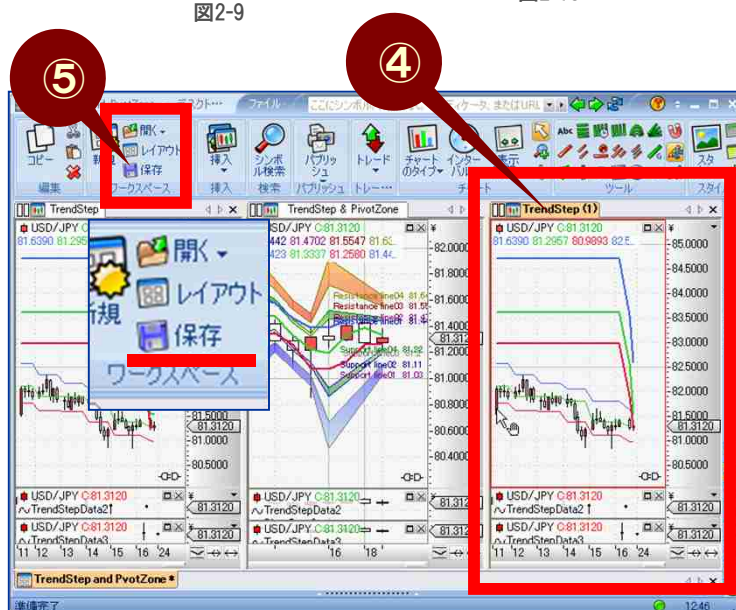


図2-11